

設備保全科

訓練期間

6か月

入校時期

4月

訓練対象

おおむね 50歳以上

授業料

無料

商業施設やオフィスビル、公共施設（上下水道、清掃工場などのライフライン）等を安全に運用するには、設備管理員の存在が欠かせません。

設備管理員は、設備管理の専門的な知識と技能の習得、各種国家資格の取得が求められています。

設備保全科では、施設の利用者に、安全・安心を提供するための防災・防犯設備や空調・給排水衛生設備・電気設備など、建築設備・各種施設を維持管理するための保全作業を学科・実習を通じて学びます。また、各資格についても当科の訓練において試験対策を行い、皆さまの資格取得をサポートいたします。



電気、空調、
水まわり、
消防設備の点検、
維持管理！

WORK おもな就職先

設備保全会社

ビル管理会社

防災・防犯設備会社など

QUALIFICATION 取得をめざす資格

第三種冷凍機械責任者

第二種電気工事士

消防設備士（乙4類）

自衛消防技術認定

CURRICULUM

授業内容

半年間で行う、おもな授業内容です。授業時間は800時限となります。

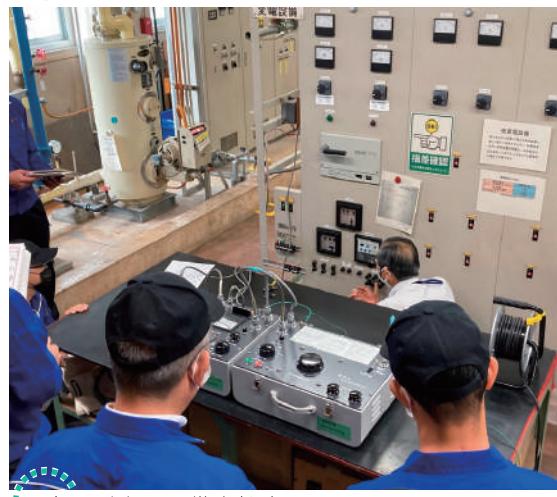
教科目名	時限数	内 容
学科 および 実技	24	文書作成(ワード)、表計算(エクセル)などの基礎
消防設備	156	消防関係法規に関する知識及び水系消火設備、自衛消防技術
水関連設備	84	給水・排水・衛生設備の保全に必要な知識・技能
空調関連設備	132	空気調和設備、冷凍機の保全に必要な知識・技能
電気関連設備	108	電気の基礎理論、機器の知識、電線接続や器具取付などの電気工事
測定試験総合作業	60	各種測定機器に必要な知識・技能
設備総合	96	各種設備の保全に関する総合演習、作業



家庭用エアコン点検等実習



エアコン点検・清掃実習



高圧受変電設備点検実習

COST
必要な経費

参考 金額は変更する場合があります

入校選考料 無 料

教科書代 約18,000円

作業服代 約7,000円

授業料 無料

その他、事故等に備える災害保険等の
自己負担が生じる場合があります。VOICE
在校生の声

授業は、教科書の内容を勉強するだけでなく、実際に実務に使う設備を、見て触って学ぶことができるので、理解を深めることができます。現場の業務のイメージができる授業で、将来、どのような仕事をするのか実感が湧いてきます。

